

ガソリンの適正な保管や取り扱いについて

11月になり、占冠村では本格的な冬を迎える時期となりました。これからの時期は、除雪機や発電機などを使用するため、ガソリンを物置等に備蓄する方もいると思います。ガソリンは日々の生活においてとても身近な物ですが、引火しやすく、揮発性の高い危険物です。適正な保管方法や取り扱いをいま一度確認し、安心・安全に使用できるよう注意しましょう。

また、ガソリンスタンドではガソリンを携行缶で購入される方に対して、本人確認（運転免許証の提示等）、使用目的の確認および販売記録の作成が消防法で義務付けられています。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

《 注意点 》

1. ガソリンは消防法令に適合した容器（ガソリン携行缶等）に入れて保管を！
 ※灯油用ポリタンク等で保管しない
2. 容器に貼られている注意事項に留意して取り扱う！
 ※エア抜きをする、直射日光の当たる場所や温度の高い場所で保管しない
3. セルフのガソリンスタンドでも、容器への給油はスタンド従業員が行う必要がある！

救急出場状況

(9月分)

交通事故 3件(4人)
 一般負傷 4件(3人)
 急病 13件(10人)

9月計 20件(17人)
 累計 163件(145人)
 ※ () 内は搬送人員



野生動物対策の状況

農林課林業振興室
 野生鳥獣専門員
 ☎ 56-2174

エゾシカ

9月のシカ駆除数は31頭で、前年、前々年より少なくなりました。シカの勢いもやや鈍ったかとも思われますが、確証は得られていません。引き続き捕獲圧をかけつつ、状況を注視してまいります。



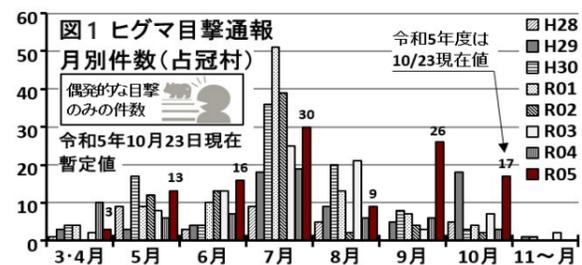
採草地のヒグマ (双珠別 10月23日)

ヒグマ

今秋は市街地接近など問題行動が増すとのお伝えしていましたが、これに違わず、9月下旬から10月にかけて人里での目撃事例が増え、件数では異常年であった平成29年の水準をすでに超えました(図1)。内容はさらに心配で、人身被害こそないものの、中央市街侵入や家畜被害など、近年過去にない動きを見せています。ミズナラ、ヤマブドウ、コクワの今期不作だけでなく、経年的な生息数増加、人慣れの進行など複合的な原因があると思われる、解明にはなお調査と分析を要します。村はいまのところ人里

周辺生息地での予防的駆除はせず、過去数年で練り上げてきた問題個体対応を粘り強く続けています。危険性が高いと判断した個体に対しては果敢に攻勢をとり、今年全4件を発生当日か翌日の初動で射殺し終息させました。一方、発生当初に経過観察を判断した案件では1頭も捕獲することなく、自然解消まで見守っています。

今月以降も騒がしい状況が続くのか、早めの冬眠となるのか予測できませんが、なすべきは身辺の見張りや誘引物の管理など基本的なことに尽きます。今期も皆さまのご協力を得て人身無事故をめざしたいと思います。詳細は折り込み資料等でお知らせするほか、今年もヒグマミーティングを企画します。



地域とともに

コミュニティ・スクール情報
 ~トママ学校~
 教育委員会学校教育担当 ☎ 56-2182

トママ学校・トママ保育所合同学芸会

9月30日(土)に、トママ学校・トママ保育所合同学芸会を開催しました。「さあ行こう!最高!~Everyone with Smile~」をテーマに、トママ学校の児童生徒12人と保育所園児12人がこれまでの学習や生活の成果として、創意と工夫を凝らした盛りだくさんの内容を発表することができました。

今年は、人数制限のない学芸会ということで、ご来賓をはじめ、保護者や家族、トママ地域の多くの方々にご観覧いただきました。

温かい声援や拍手に包まれた会場で、子どもたちは達成感や満足感を味わうことができました。



〈オープニングダンス〉



〈エンディング直前の後期生〉

参観された方々からの事後アンケートでは、「保育所・学校の笑顔が素敵でした。舞台の上で輝いていました」や「子どもたちの緊張感と、やり遂げる意識が今年は強かったと思いました」など、賞賛の声をたくさん頂きました。子どもたちにとっても今後の活動への自信と励みになってくると思います。

今後もトママっ子の活躍をできるだけ多くの方々に発信していきます。地域の皆さまに温かく見守っていただくとともに、子ども達一人一人のよさを見付け、たくさん褒めていただけますと幸いです。地域とともに子どもを育てる上で、有意義な1日となりました。



〈書道パフォーマンス練習風景〉



こちら駐在所です

占冠駐在所
 ☎ 56-2110

冬山遭難の防止 ~ 冬山は 装備・計画 しっかりと ~

無理のない計画を立て登山計画書を提出しましょう!

登山技術、体力、経験に応じた山を選ぶなど無理のない計画を立て、登山計画書を作成して、家族や職場等に渡すほか、最寄りの警察署または交番・駐在所に提出しましょう

気象情報の確認をしましょう!

入山前には必ず天気予報を確認し、天候の悪化が予想される場合には登山を中止しましょう。また、途中で天候が悪化した場合は、すぐに引き返すなど安全な登山に努めましょう。

単独での登山を避けましょう!

単独での登山を避け、経験豊富なリーダー等と一緒に行動しましょう

慎重な行動を心掛けましょう!

冬山では地形や積雪量、気象の変化等を総合的に判断して行動しましょう。また、雪庇の踏み抜きや雪崩の危険性が高い場所等は回避するなど、慎重に行動しましょう。

万全の装備と余裕のある食料等を準備しましょう!

登山時の装備不足や食料不足が最悪の事態を招く恐れがあります。急激な天候の変化にも耐えられる装備と、停滞時に備えて食料や燃料等を準備しましょう。



携帯電話を持ちましょう!

万一の遭難に備え、携帯電話を必ず持ちましょう。

スキー場の標識や注意事項を守りましょう!

スキー場コース外の滑走は、雪崩の発生や立木への衝突などの危険があるので、スキー場の注意事項をきちんと守りましょう。

